

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	チームでつくる介護計画とモニタリングセンター方式を導入しているが、個々の入居者、利用者について個別性が足りなく計画のバラツキがみられることと、しっかりとしたモニタリングの記載が不十分であった。	個別性を重視し、又個々のスタッフの記録方法や、理解を促すうえでの研修が不可欠と考えている為、実務通しての研修計画を立てていく。	定期的に行う院内研修並びに、スタッフの資質向上のための所外研修の計画を立てて実践していく。	約12か月
2	35 (13)	災害対策時における消防署及び地域の消防団員等地域独自の活動団体との接点が稀薄であったことが課題として上がって来た。	地域と共にという言葉だけでなく、地域の方々との接点を作りそこから、お互いが助け合う、支え合う実践の行動につなげていく。	特に災害時、救急時、地域の方々の支えや協力が不可欠であると考えている。その為に地区の消防団、その他の会の方々との接点づくりを考えている。地域推進会議の方々との協力を得ながらもしもの時に手を貸してくださり依頼できるような体制づくりを行っていく。	6ヶ月～ 12ヶ月
3					
4					
5					